

DNP

株主通信

DNP Report vol.81

(証券コード：7912)

特集：生活者の読書体験を広げる取り組み





株主の皆様には、ますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。また日頃は格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

いま、生活者が利用する情報メディアが多様化し、情報ネットワークが世界に広がるなか、強固な情報セキュリティに守られた心地よいコミュニケーションの実現が求められています。DNPは、こうした「知とコミュニケーション」に関わるニーズに対応し、幅広いソリューションを提供しています。

当DNPレポートでは、これらの取り組みのうち、出版市場の活性化に向けた「ハイブリッド型総合書店」の動向や、教育現場での情報通信技術（ICT）の活用事例などをご紹介します。

❖ ハイブリッド型総合書店の事業拡大

私たちは、従来の書店の店頭販売に、最近拡大しつつあるネット通販、電子書籍販売サービスを連携させたハイブリッド型総合書店「honto」を2010年にスタートしました。その後、電子書籍のコンテンツやサービス会員は大幅に増えています。さらに、2014年12月には、ネットを使った会員登録やコンテンツのダウンロードなどが不要で、生活者は購入後すぐに読書することができる、あらかじめ多くのコンテンツを収録した読書専用端末「honto pocket」を発売しました。DNPは、生活者のニーズに的確に応えることで、「い

つでも、どこでも、誰にでも]豊かな読書体験を提供できることを目指しており、「honto pocket」も、気軽に電子書籍を読みたいという生活者の要望に合わせて開発しました。

また、DNPグループの書店である丸善、ジュンク堂書店、文教堂のお客様やhonto会員の書籍の購入を支援するスマートフォン向けアプリ[honto with]の提供を2014年12月に開始しました。このアプリを使って、読みたい本をスマートフォンで検索すると、店舗での在庫状況や棚の位置などを確認することができます。また、その本のレビューの閲覧や電子版の試し読み、「欲しい本リスト”の店舗在庫の一括検索などの機能によりDNPグループの書店の利便性を向上させていきます。

❖ 紙と電子を組み合わせたハイブリッド教材の開発

日本各地の教育の現場では、タブレット端末やインターネット、電子黒板などのICTの活用事例が増えています。例えば、デジタル教科書・教材によって、印刷物では表現できなかった動画や音声などを利用することにより学習効果を高め、学習意欲の向上が期待されます。また、生徒がパソコンやタブレット端末に書き込んだ内容を即座に電子黒板などに映し出し、教室の全員で共有することもできます。自分の考えや意見を主張することで、コミュニケーション力の向上を図ります。

私たちは、印刷技術と情報技術の融合によって、紙と電子の両方の情報メディアの良さを活かし、ハイブリッド型総合書店事業や教育関連事業の取り組みを強化していきます。2013年12月にDNP 柏データセンターを開発しました。この拠点を、情報セキュリティのインフラとして活用し、情報コミュニケーションビジネスの拡大を図っていきます。

DNPは「知とコミュニケーション」の分野をこれからの成長が見込まれる市場領域のひとつとして捉えています。この分野において、生活者や企業、社会の課題を解決していく製品やサービスを提供していくことで、企業価値を高めていきます。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導とお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長

北島義俊



DNPは生活者の多様化する読書スタイルに応え、「読みたい本を、読みたいときに、読みたい形で」提供するために、書店での店頭販売とネット通販、電子書籍販売サービスを連携させたハイブリッド型総合書店「**honto**」を運営しています。

書店としてはDNPグループの丸善、ジュンク堂書店、文教堂で書籍・雑誌などを販売するhontoサービスを展開*しており、ネット通販および電子書店のhontoサイト(<http://honto.jp/>)と共通のポイントサービスも行っています。2015年3月時点でhonto会員は270万人を超え、ネット通販では100万点以上、電子書籍販売サービスでは国内最大規模の45万点の文芸書やコミック、ビジネス書などを取り扱っています。

また、購入した本のリストをネット上で一括管理する「マイ本棚」、リアルな書店も含めた在庫検索、Yahoo!

やFacebookのIDによるログイン、ウェブ本棚サービス「ブックログ(<http://booklog.jp/>)」と連携したブックレビューなど、多様な機能を提供しています。一人ひとりの購入履歴にもとづいたおススメ本情報やメールマガジンの発信なども行い、読者と本との心地よい出会いをサポートしています。

また、電子書籍を試しに読んでみたいという生活者に、東京・市谷の体験型ショールーム「コミュニケーションプラザドットDNP」や大阪・梅田の「CAFÉ Lab.」で、設置してあるタブレット端末を使って無料で電子書籍を体験していただけます。DNPはハイブリッド型総合書店「honto」を中心に、生活者の豊かな読書体験につながるサービスを展開していきます。

*一部の書店ではhontoサービスに対応していません。

ダウンロードなどの手続きが不要な電子の本 「honto pocket」発売

DNPは、読書専用端末に電子書籍をあらかじめ収録した「honto pocket」を2014年12月に発売しました。これまでの電子書籍端末は、電子書籍を読むまでに、インターネット接続の設定、会員登録、クレジットカード決済登録、コンテンツのダウンロードなどの手続きが必要でした。そのため、気軽に読書を楽しみたい方や、特に年配の方からもっと簡単に電子書籍を読みたいという要望が多く寄せられていました。「honto pocket」には十数冊から百冊までのコンテンツがすでに収録されており、面倒な手続きを行うことなく、購入後すぐに電子書籍を読むことができます。

今後、ユーザー調査などによって、望まれる作品やジャンルなどを抽出しながら、新たな商品ラインアップを追加していきます。



honto pocket

【取扱店舗(2015年3月現在)】

丸善: 丸の内本店・日本橋店・お茶の水店
ジュンク堂書店: 池袋本店・大阪本店
MARUZEN&ジュンク堂書店: 梅田店

※今後、DNPグループの2Dfactoが運営するハイブリッド型総合書店「honto」のネットストアでも取扱う予定です。

● hontopocket の特長

収録済みの電子書籍コンテンツがすぐに読める

電子書籍のダウンロードが不要なため、インターネットへの接続や会員登録の手間がかかりません。

片手で持てる文庫本サイズ

コンパクトサイズながら、100冊もの名作が収録可能な読書専用端末です。書籍のような装丁の外箱は、本棚にもじっくり収まります。

誰でも簡単ラクラク操作

3つのボタンですべての操作ができるシンプルな設計です(電源は単三電池)。

目にやさしく読みやすい

表示パネルには目にやさしくて省電力の電子ペーパーを採用。文字は7段階の拡大・縮小が可能で、読みやすい文字サイズで楽しんでいただけます。

【現在販売中の商品パッケージ一覧(2015年3月現在)】

(詳細は、URL:<http://hontopocket.jp/>)

パッケージ名称	コンテンツ数	販売価格(税抜)
アガサ・クリスティー全集	100冊	74,800円
名探偵ポアロ・シリーズ	43冊	32,800円
エラリー・クイーン選集	27冊	19,800円
ホームズ&ルパン 名作競演集	14冊	9,800円
ディック・フランス 競馬シリーズ全集	44冊	42,800円
吉川英治 歴史時代文庫名作集	85冊	31,800円
三浦綾子 電子全集	91冊	49,800円
光文社古典新訳文庫傑作集	63冊	53,800円

特集:生活者の読書体験を広げる取り組み

リアル書店での書籍購入を支援するアプリ「honto with」

ホント ウィズ

ウェブサイトURL <http://honto.jp/with/>

ハイブリッド型総合書店サービス「honto」を運営するDNPのグループ会社トゥ・ディファクト（2Dfacto）は、書店（丸善、ジュンク堂書店、文教堂）での書籍購入をサポートするスマートフォン用アプリ「honto with」の配信を開始しました。

来店せずに書店の書籍在庫を検索できる機能や、来店時の操作でhontoポイントをプレゼントする“チェッ

クイン機能”などで、生活者への利便性を高めています。また、購入した本をウェブ上で一覧できる「マイ本棚」、購入予定の書籍を管理する「欲しい本」、hontoサイトで確認した本が自動的にリスト化される「チェックした本」など、本に触れる機会が多い読書家のニーズにも対応しています。

STEP. 1 書棚の管理

「欲しい本」
「マイ本棚」
「チェックした本」
でステータス管理



STEP. 3 本の購入

書店で在庫を検索
有無と棚表示



STEP. 2 書棚の閲覧

書店内で
チェックインすることで
「欲しかった本」などを
意識づけ



STEP. 4 ネット/電子書籍提案

在庫がない場合は近隣店舗の在庫もしくは
ネット通販や電子書籍を表示



❖ [honto]で本などの中古買取サービスを開始

DNPと2Dfactoは、honto 会員向けの中古買取サービスを今年1月に開始しました。買取対象は中古本・CD・DVD・ゲームで、会員は自宅にいながら honto サイトで、これらの商品の買取を申込みことができます。買取業務は、ブックオフコーポレーション株式会社の子会社で EC サイトを運営しているブックオフオンライン株式会社が行います。

買取代金の支払い方法は、現金と honto ポイントから選択でき、現金の場合は、現金振込時に買取価格の1%相当の honto ポイントが付与されます。honto ポイントの場合は、買取価格相当のポイントに加えて、買取価格の10%相当のポイントが付与されます。新刊として販売した本を読後に買い取る仕組みによって、次の新刊購入につなげていきます。

※hontoポイントは、1ポイント=1円に相当します。

❖ 紙の書籍の購入で電子書籍を50%引きで買える

「honto読割50」を開始

「honto 読割50」は、honto サイトおよび提携の書店（丸善、ジュンク堂書店、文教堂）で紙の書籍を購入すると、同一タイトルの電子書籍が、販売価格の50%引きで購入できるサービスです。割引期間は紙の書籍の購入から5年間です。

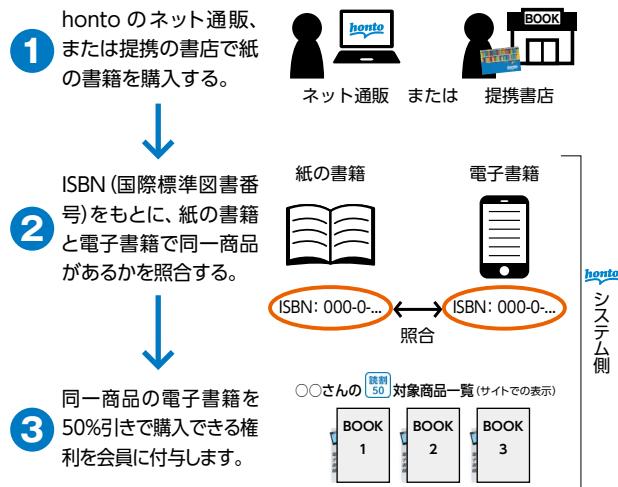
紙の書籍を購入した時点で電子書籍が未発売の場合は、電子書籍の発売日から5年間が割引期間となります。このサービスによって DNP は、紙とデジタルのハイブリッド対応を促進し、生活者の読書スタイルの多様化に適応していきます。

※DNP グループの書店で「honto 読割50」を利用する際は、会計時に honto カードをレジに提示していただく必要があります。※サービス開始は2015年3月下旬の予定です。

ウェブサイトURL <http://honto.jp/netstore/bookoff/>



honto 読割50 サービスのイメージ



第3四半期決算のご報告 (平成26年4月1日から平成26年12月31日)

連結業績の概況

(単位:億円)

科目	当第3四半期	前第3四半期
売上高	10,917	10,750
営業利益	358	361
経常利益	409	406
四半期純利益	245	220

連結業績の予想 (平成27年3月期通期)

(単位:億円)

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
15,000	520	540	260

1株当たり当期純利益40円38銭

DNPは、事業ビジョン「P&Iソリューション」に基づき、「未来のあたりまえを作る。」ことを目指し、生活者の視点やソーシャルな視点に立って、グローバルな事業展開に取り組むとともに、全体最適の観点から国内外の事業体制再編などの構造改革を進め、業績確保に努めました。

当第3四半期連結累計期間のDNPの連結売上高は1兆917億円(前年同期比1.6%増)、連結営業利益は358億円(前年同期比0.8%減)、連結経常利益は409億円(前年同期比0.9%増)、連結四半期純利益は245億円(前年同期比11.7%増)となりました。

部門別の状況

印刷事業



ICカード



昇華型熱転写記録材



液晶ディスプレイ用反射防止フィルム

清涼飲料事業



清涼飲料

情報コミュニケーション部門

売上高	5,197億円
前年同期比	0.2%増
営業利益	48億円
前年同期比	34.9%減

出版物やチラシ・カタログは減少しましたが、ICカードや図書館サポート事業などが順調に推移し、前年を上回りました。

生活・産業部門

売上高	3,555億円
前年同期比	3.7%増
営業利益	174億円
前年同期比	12.3%増

住空間マテリアル関連は減少しましたが、産業資材関連や包装関連が増加し、前年を上回りました。

エレクトロニクス部門

売上高	1,751億円
前年同期比	0.8%減
営業利益	191億円
前年同期比	0.7%減

光学フィルム関連は増加しましたが、液晶カラーフィルターや電子デバイス関連が減少し、前年を下回りました。

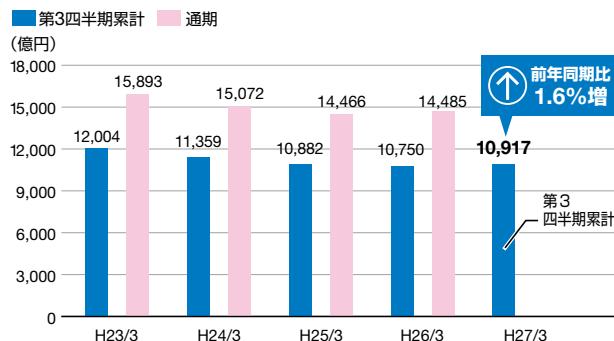
清涼飲料部門

売上高	457億円
前年同期比	9.5%増
営業利益	11億円
前年同期比	38.9%増

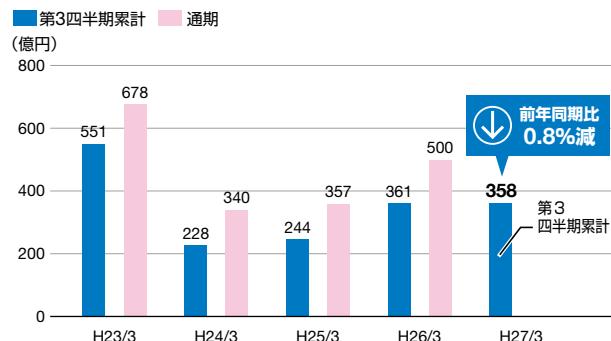
軽量ペットボトルを使ったミネラルウォーター「い・ろ・は・す」が大きく増加し、前年を上回りました。

※平成26年4月から、従来は生活・産業部門にあった光学フィルム関連事業を、エレクトロニクス部門にセグメントを移行したこととともない、第1四半期連結累計期間より報告セグメントの区分を変更しています。前年同期比較につきましては、前年同期の数値を変更後の事業区分に組み替えた数値で比較しています。

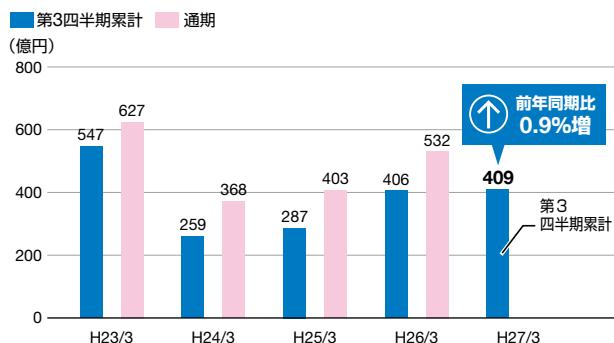
連結売上高



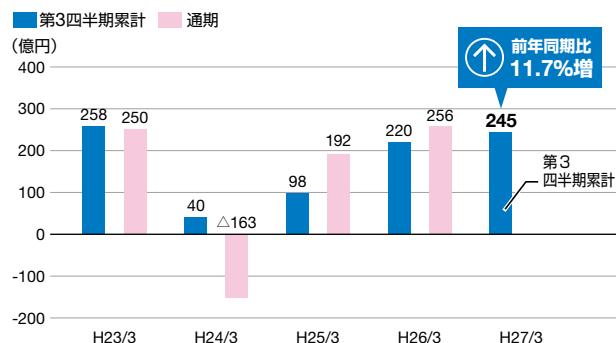
連結営業利益



連結経常利益



連結当期(四半期)純利益



連結貸借対照表(要約) (単位:億円)

科目	当第3四半期 連結会計期間末	前連結会計年度末
資産	17,257	15,747
流動資産	7,409	7,330
固定資産	9,847	8,416
負債	6,510	5,983
流動負債	4,232	4,184
固定負債	2,277	1,799
純資産	10,747	9,763

配当予想(1株当たり配当金)

	中間	期末	年間
平成27年3月期	16円00銭 (実績)	16円00銭 (予想)	32円00銭 (予想)
平成26年3月期	16円00銭 (実績)	16円00銭 (実績)	32円00銭 (実績)

【2014年12月16日発表】「DNPレシート読み取り家計簿アプリ レシーピ!®」が2014年ベストアプリに!



<http://receipi.jp/>

DNPが提供するスマートフォン向け家計簿アプリ「レシーピ!®」が、「Google Play 2014年ベストアプリ」に選出されました。これは2014年に日本で人気を集めたアプリを選定する企画で、今回はGoogle Playの全アプリから30点が厳選されるアプリ部門で、高い評価を受けて選出されました。

このアプリは、レシートを撮影するだけの簡単な操作で家計簿が作成できます。わかりやすいグラフなどで家計管理ができるほか、購入した食材を無駄なく使う献立の提案、癒し系キャラクターとの“ゆるいコミュニケーション”などによって、家計簿を楽しく続けられます。特に20~30代の女性を中心に人気で、2014年12月には120万ダウンロードを突破しました。

DNPは、生活者の“お買いもの”をさまざまな形でサポートするサービスを幅広く展開していきます。

【2014年10月30日発表】IDカードを傷から守るカードプリンター用透明ホログラムリボンを開発

DNPは、社員証や会員証の顔写真や識別番号など、IDカードにプリントされた情報を傷から守るカードプリンター用透明ホログラムリボンを開発しました。

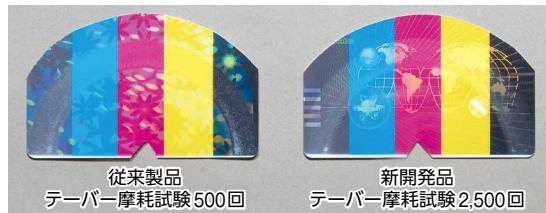
カードプリンター用リボンは、印字と同時に摩耗を防ぐための保護層を形成する機能を持ちます。しかし従来、リボンによる保護層だけでは、IDカードの顔写真の視認性が損なわれて早期に再発行が必要になるなど耐久性が不十分とされ、これを補うため保護フィルムのラミネート加工が行われてきました。

今回開発したリボンは、従来品の約5倍の保護層の耐摩耗性(テーパー摩耗試験で2,500回超/ラミネート加工時と同等)を実現。このためラミネートが不要となって作業や費用の軽減につながるほか、ホログラムのデザインによる偽造防止効果も期待できます。2015年4月発売予定で、カードプリンターメーカーやカード発

行会社などに販売するとともに、製品ラインアップの拡充にも取り組みます。



透明ホログラムリボン



従来製品
テーパー摩耗試験 500回
新開発品
テーパー摩耗試験 2,500回
従来製品(左)は500回で傷が目立つ

❖【2014年11月6日発表】自然エネルギーを活用した省エネルギー型デジタルサイネージを開発

DNPは、太陽光発電と風力発電、蓄電池を組み合わせた自然エネルギーシステムを搭載した省エネルギー型デジタルサイネージ(電子看板)を開発しました。

液晶ディスプレイのほか、省エネ性に優れた電子ペーパーを表示装置として備え、非常時や災害発生時には自然エネルギーで電子ペーパーを稼働させて緊急情報を発信します。また、スマートフォンや携帯電話をかざすだけで安否確認サイトへ誘導する仕組みも備えています。

2014年11月から約1年間の実証実験を進めており、その結果を踏まえた実用化を目指しています。生活者

に求められる機能を整備し、防犯・監視カメラ、多言語対応、無線によるインターネット接続などの機能について検討し、公共施設や学校、商業施設や幹線道路などへの導入につなげていきます。



省エネルギー型デジタルサイネージ

❖【2015年8月29日まで】生活者向けショールームで企画展『はらぺこあおむし展』開催中

DNPの多彩な製品やサービスを生活者に紹介する体験型ショールーム「コミュニケーションプラザ ドットDNP」(東京・市谷)は、2015年1月にオープン2周年を迎えました。この施設では現在、世界中で愛読されている絵本『はらぺこあおむし』(作者：エリック・カール)を題材にした企画展「はらぺこあおむし展 ～色で遊ぶ、学ぶ。～」を開催しています(2015年8月29日までの予定)。

○160種類の色紙を使ったものづくりコーナー

エリック・カール氏の鮮やかな色づかいをイメージした色紙素材を使って、オリジナルのポストカードや写真立てを作ることができます。

○デジタル塗り絵で作るオリジナルはらぺこあおむし

タブレット端末のカメラ機能で会場内を撮影すると、

絵本のストーリーのように“はらぺこあおむし”に色が付き、カラフルな蝶に変身してシアターのなかを飛び回ります。

【コミュニケーションプラザ ドットDNP】

- 所在地：東京都新宿区市谷田町1-14-1
DNP市谷田町ビル
(JR市ヶ谷駅徒歩5分／
東京メトロ市ヶ谷駅徒歩1分)

*企画展「はらぺこあおむし展 ～色で遊ぶ、学ぶ。～」は、地下1階で開催。

- 電話番号：03-6386-1700(カスタマーセンター)
- 開館時間：10:00～18:00
- 休館日：日曜日・年末年始
- 入館料：無料

(カフェ、ワークショップなど、有料のものもあります。)



❑ ICT(情報通信技術)を活用したDNPの教育関連事業の取り組み

ICTが著しく進歩するなか、日本の「教育の情報化」に向けたさまざまな取り組みが活発になってきました。小中学校などでは、これまでの写真資料に替わり、タブレット端末を活用した動画資料で、自然現象や機器の動き、グラフの経年変化などを確認して理解度を深める工夫がなされています。大学などでは、研究者向け論文などの電子化が急速に進み、教科書や参考図書の電子書籍へのニーズも高まっています。

DNPは教育分野で望まれる「あたりまえ」を作っていくため、印刷技術と情報技術の融合によって、紙と電子の両方の情報メディアを組み合わせた“ハイブリッド”なソリューションを数多く提供しています。例えば、手書きの文字や画像を即座にデジタルデータ化できる

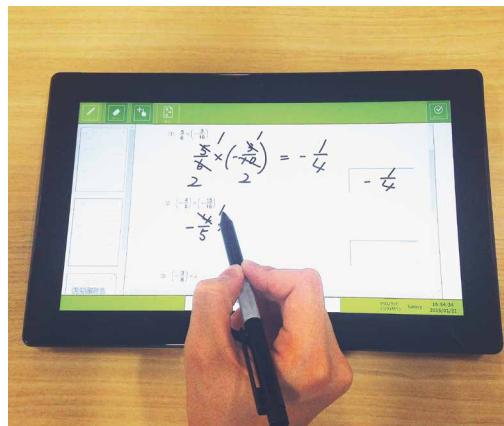
デジタルペンを活用し、教員が生徒の学習の進み具合をその場で確認できるシステムの運用を行っています。一人ひとりの生徒が解答に至るプロセスもデジタルデータとして保存できるため復習に活用できるなど、その有効性が注目されています。また、複数の大学や企業とも共同研究などを推進し、紙と電子のメディア表現技術、コンテンツの著作権処理、情報セキュリティに守られたインフラ構築、人材の育成サポートなど、各種ソリューションの開発を行っています。

DNPグループには、丸善、教育出版、図書館流通センター（TRC）などの教育関連会社があり、相乗効果を高めて、より良い教育に貢献していきます。

❖ 「DNP学校向けデジタルテストシステム」を開発

DNPはタブレット端末上で解答や採点を行い、解答までのプロセスの把握やテスト結果の集計が容易にできる「DNP学校向けデジタルテストシステム」を、日本マイクロソフト株式会社と連携して開発しました。

このシステムは、マイクロソフトの文書作成ソフト「Word」で作ったテストをタブレット端末用デジタルテストに変換できます。教師がこれまで作成してきたテストを応用できるほか、教材会社と連携し、システムに対応した教材の利用も可能です。自動採点の難しい記述問題については、教師による採点機能で解答プロセスから理解度を把握することが可能です。また、日々の学習の状況をデータとして管理できるため、指導内容と学力の関係の振返りや、生徒の評価にも活用できます。今後も教材会社と協力して対応教材を増やし、最適なデジタルテスト環境の整備を進めていきます。

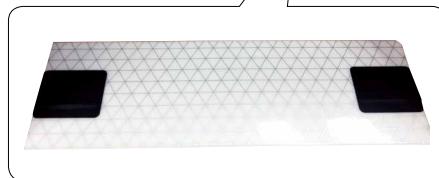
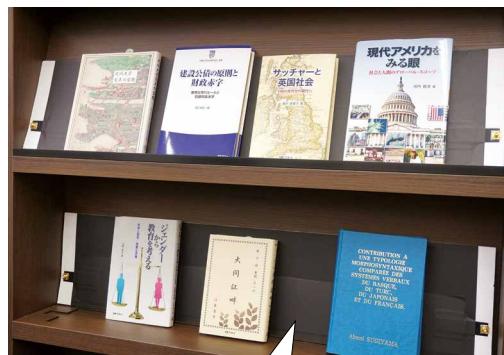


「DNP学校向けデジタルテストシステム」を用いたテストの様子

❖ 貸し出されていない本の動きもわかる ICタグシステムを開発

DNPは図書館の書物が“手に取られた（書棚から出された）”ことを検知し、それぞれの本の利用時間を定量的に集計するシステムの実用化に取り組んでいます。これまでは貸出しが行われていない書物の動きを把握することは不可能でしたが、当システムによって選書の最適化や企画展示の効果測定、授業の進展とともに利用される書物の関連分析など、図書館内の利用実態が可視化できます。

このシステムは、書物に貼付したICタグと、書棚に設置した“専用棚アンテナ”の間でデータ通信を行って管理するものです。富山大学、東北大学、神戸大学との共同実証実験から得られたデータ解析のノウハウと、丸善の選書と図書館運営の強みを組み合わせ、利用者サービスの向上、運営の効率化などの課題解決を進めていきます。



書棚に設置した“専用棚アンテナ”

電子書籍が利用できる 「電子図書館サービス」を全国で展開

DNP は、グループ会社の図書館流通センター (TRC) や丸善とともに、図書館で電子書籍の貸出しが行える「電子図書館サービス」を提供しています。公共図書館や大学図書館など、全国 30 館以上で導入されており、生活者が自由に図書館の電子書籍を読めるような機会を提供しています。システム構築については、DNP の業務提携先の日本ユニシスと技術サポートの連携を図っています。

そのなかで、TRC が公共図書館に提供する電子図書館サービス「TRC-DL (Digital Library)」は、地域独自の貴重な資料等の電子版や市販の電子書籍に関する使用許諾および配信システムを一元管理しています。また、本サービスを活用してデジタル絵本の読み聞かせイベントを開催するなど、電子書籍の普及にも努めています。



札幌市中央図書館 (写真左：外観、写真右：内部)



札幌市中央図書館にある電子図書館体験ブース

● クラウド型の電子図書館サービスで導入・運用負荷を軽減

2014 年 4 月、DNP、TRC、日本ユニシスの 3 社が協力し、日本初のクラウド型新電子図書館サービスを札幌市中央図書館に導入しました。利用者は図書館で ID を取得すれば、来館せずにパソコンやタブレット端末、スマートフォンなどで電子書籍を借りることができます。クラウド環境を活用するため、図書館側はサーバやシステムを新たに購入、構築する必要がなく、短期間、低価格で電子図書館サービスを開始できます。

DNP は、電子書籍化されていない本のライセンス交渉からコンテンツ制作までをトータルにサポートしています。ライセンスについては、出版社向けの説明会を開いて各社が提供可能なコンテンツを調査するなど、きめ細かく準備を進めた結果、地元出版社の書籍や地域資料の提供も可能になりました。学校の授業との連携や児童向けサービスの展開、貴重な地域資料の電子化など、社会と図書館の連携を深めていくため、電子図書館サービスを推進していきます。

【札幌市中央図書館】

- 所在地：
札幌市中央区
南22条西13丁目1番1号
 - 開館時間：
月～金 9:15～20:00
土・日・祝日 9:15～17:00
 - 休館日：施設点検日(第2水)、図書整理日(第4水)、
年末年始(12/29～1/3)、蔵書一点検日
- <http://www.city.sapporo.jp/toshokan/>



会社概要

商号

大日本印刷株式会社

英文社名

Dai Nippon Printing Co., Ltd.

本社所在地および連絡先

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

電話 03 (3266) 2111 総合案内

URL <http://www.dnp.co.jp/>

創業

明治9年(1876年)10月9日

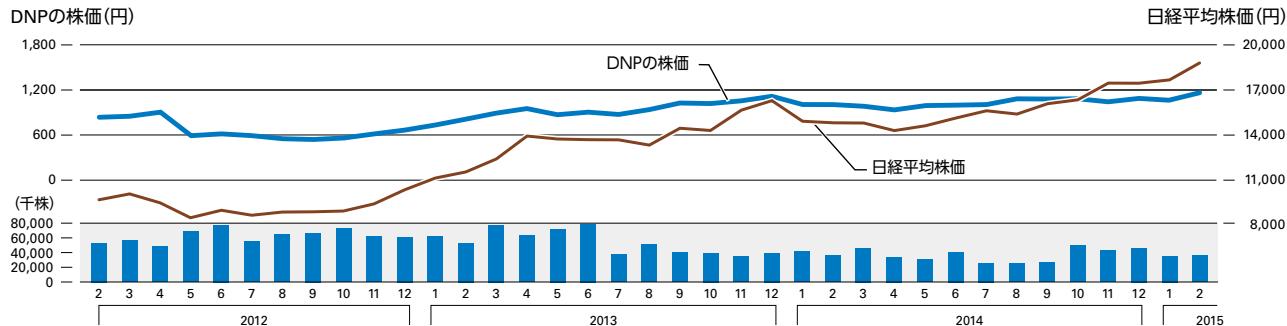
設立年月日

明治27年(1894年)1月19日

資本金

1,144億6,476万円

株価 / 出来高の推移



CONTENTS

株主の皆様へ	2
特集:生活者の読書体験を広げる取り組み	4
第3四半期決算のご報告	8
ピックアップニュース	10
“フォーカスDNP”シリーズ 【第20回:教育関連ソリューション】	12
会社情報	15



表紙：電子書籍をあらかじめ収録した端末[honto pocket]

※当株主通信は、DNPの事業ビジョンや業績に関する情報の提供を目的としています。記載された意見および予測は、作成時点でのDNPの判断に基づいたもので、これらの情報の完全性を保証するものではありません。

※記載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会開催時期	6月
上記総会における議決権の基準日	3月31日 その他必要のある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定します。
剰余金の配当基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行います。(当社のウェブサイト http://www.dnp.co.jp/ir/) ただし、事故その他やむを得ない理由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株式事務に関するご案内

1. 住所変更、配当金受取方法の変更等のお問い合わせ先、お手続き窓口

- 一般口座(証券会社の口座)にある株式
株主様が口座を開設されている証券会社の本支店
- 特別口座(みずほ信託銀行の口座)にある株式
(お問い合わせ先) みずほ信託銀行 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
(お手続き窓口) みずほ信託銀行 本店および全国各支店(トラストラウンジを除く)
みずほ証券 本店、全国各支店および営業所
プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)

2. 未払配当金のお支払窓口(払渡し期間経過後の配当金領収証によるお受け取り)

- (お支払窓口) みずほ信託銀行 本店および全国各支店(トラストラウンジを除く)
みずほ銀行 本店および全国各支店
- (取次所) みずほ証券 本店、全国各支店および営業所
プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)

※ 単元未満株式に関するお知らせ

1,000株に満たない株式(単元未満株式)を所有されている株主様が、当社に対しその単元未満株式と合わせて1単元(1,000株)になる数の株式を買増請求できる「単元未満株式の買増制度」を導入しております。また、単元未満株式の買取請求につきましても、お取り扱いしております。

- DNP Report に関するお問い合わせ先

大日本印刷株式会社 広報室 〒162-8001 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号
TEL : 03-3266-2111 (総合案内)



この印刷物は、原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでに排出されるCO₂量を算定し、その全てをCO₂排出権により実質的にゼロにする「カーボン・オフセット」を行っています。



この印刷物は、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構が認証したCUDマネジメントシステムに則り、色覚の個人差を問わず、より多くの方に見やすく配慮しています。